

会議録

会 議 の 名 称	令和7年度第2回あま市放課後子ども教室のあり方研究会
開 催 日 時	令和8年3月27日（金）午前9時30分から
開 催 場 所	あま市役所 A会議室
内 容	1 あいさつ 2 （1）令和7年度放課後子ども教室について （2）令和8年度放課後子ども教室について 3 その他
会 議 資 料	令和7年度放課後子ども教室について 令和8年度放課後子ども教室について
公 開 ・ 非 公 開 の 別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍 聴 人 の 数 （公開した場合）	0人
出 席 委 員	井村なを子委員長、木全克己副委員長、武藤二三夫委員、横井宏之委員、川原史子委員、鈴木加奈枝委員、大西純滋委員、立松愛唯委員
欠 席 委 員	加藤優子委員、乙部祐樹委員、石塚麻美委員、入山てるみ委員
事 務 局	（教育委員会）伊藤克仁教育長 （教育部）鎌倉崇志教育部長 （生涯学習課）小出敏夫主幹、担当職員3名
【会議の経過】 小出主幹  伊藤教育長  小出主幹  委員長	開会 事務確認  1 あいさつ  委員、事務局紹介  協議事項 （1）令和7年度放課後子ども教室について

事務局	令和7年度放課後子ども教室について説明。
委員長	ただいま事務局から説明がありました。他に何かご質問とか、ご意見がございましたら挙手をお願いいたします。
委員	<p>はい。アンケート結果がとても満足度が高いということで、スタッフの皆さんのご尽力のおかげだと感謝しております。</p> <p>すごくバランスも良く、色々なバリエーションがあり大変楽しそうだなと思います。1つ質問なのですが、宝小は利用者が2人ですが、13回実施した中で2人とも休むことなく全部開催できましたか？1人お休みすることはなかったですか。</p>
事務局	<p>欠席がなく、全て2人で実施できました。</p> <p>今言われたとおり、宝小は少人数で、人数上の制約もあり、プログラムにも制限がありますが、スタッフが2名おりますので、今年度は段ボールハウス作りなど、対面でできる少人数のメリットを生かした様々なプログラムができたところは評価しております。</p>
委員	アンケートを見させていただいた所、参加者の満足度が高いですし、児童も保護者も、やはり様々な体験ができる点を評価されていますよね。そんなにいい活動なのに、次年度の応募が300名定員のところ、200名ぐらいと少ないです。資料に書いてある内容は、ホームページなどで発信されてますか。
事務局	<p>はい。事業について、市の公式Instagramに掲載しています。また、取り組みについても写真なども含め随時公表しています。</p> <p>具体的に載せたものを説明しますと、伊福小学校4回目のスポーツ吹き矢や秋竹小学校のバランスボールの写真を4枚ほど掲載しました。</p>
委員	今、小学校にはテトルという保護者に発信する手段があるので、学校と協力して、事前に発信されるといいと思います。事業の存在を知らない保護者の方はいないかもしれませんが、知っていても参加されない理由があるとすれば、やっぱりお仕事をされていて、お迎えが難しい、そういった理由があるのではとったりします。アンケートを参加した人だけにとる、というのはちょっと感じました。ありがとうございます。
副委員長	先ほどのお話にもどって、何事もなく無事に終わったということ

	<p>で、皆様のご協力に感謝したいと思いますが、現場に出ている者の意見としまして、このアンケートにない言葉、楽しかったじゃすまないことがある。それだけ頭に入れていただきたいです。</p> <p>5 ページにあります。今までの全体の課題ですね、暑ければ教室使うなどそれぞれ解決していただいてありがたいと思っております。その場が収まればいいというのも一理ありますが、しかし教育的要素から見て、地域や家庭や学校を子どもとつなげるということになると、今回美和地区でやった手話やフラダンスについては、忙しいとは思いますが、事務局が事前に講師と連絡を取り、スタッフとも準備を進めていただきたいと思いました。</p> <p>講師がいきなり来ては、子どもたちは何が始まるかとオロオロしながらやるということで、手話とはこういうもので指文字がこうだというプリントを用意させていただきました。これで家に持ち帰り、今日これ習ったと繋がりができる。</p> <p>フラダンスも先生がロングスカートを着ていきなりやり出す。知っている子はいいんですけども、どこの国のものか、盆踊りとどう違うのか。それぐらい資料は用意できるはずですので、忙しいと思いますが効率や効果を上げるためには、やりっ放しではなく、先生の方もそうした方が、やりがいがあるんじゃないかなと思います。</p> <p>手話についても、アジア・アジパラ大会があり、あま市には競技はないけれど甚目寺に練習会場がある。一番近いところでは、中村の競輪場でBMX。BMXは市役所の前で、去年、一昨年と体験会をやったこともあります。教育委員会としてももう少し情報提供を行い、盛り上げることを大変かもわかりませんがやっていただけると良いかと思えます。</p> <p>事務局の方もスタッフの人も大変ですけど、アンケート見るといいことしか書いてないんですけど、現場スタッフはもう本当に苦労しながらやっているということだけ頭に入れていただきたいということをお願いしたいと思います。</p> <p>現場の様子を聞きたいのでお伺いします。</p> <p>来る子によって今日のこれやりたくないとか、つまらないとかはありますか。</p> <p>そういう子はいっぱいおります。もう 10 年前なんかは、指導者も民生委員の方とかもいましたが、今日やりますよ、と言ったらみんな全員 1 列になると。今は 1 列じゃなくて 3 列でも 4 列でもあるし、「やりたくないから」それから「怖いから」ということで、隅っこに座ると。当然スタッフがつかなきや駄目ですし、多動とかまで</p>
委員	
副委員長	

<p>委員</p>	<p>はいかないが、自分のやりたいことがあると外に出てしまいそうになることがあるので、スタッフが見つからないとだめでした、以前と違って非常に目配り気配りが大変であるということです。</p> <p>学年でも、その年のカラーにもよりますし、学校にもよります。美和地区でもやっぱり独特の差があるみたいです。</p> <p>絵手紙なんですけれど、スタッフの方ですごく会場の雰囲気が変わっちゃうんですね。先ほどおっしゃられたとおり、私たちも絵手紙がどういうものを説明したいんですが、スタッフの方が絵手紙はこういうものっていう先入観で先に子どもさんたちに説明されて、こちらが説明をしている間に、スタッフの方が子どもに、下描きしてみたら、と耳打ちされたりする。それは少し私たちが伝えたい趣旨と違いますし、子どもさんが多くてもじもじしている子はある程度いますが、そういう人は私たちも様子を見て、もし葉っぱなら葉っぱの先だけでも、大きくても小さくてもいいんだよ、と伝えたいのに、スタッフさんが手伝われるので、自分で描かないなら描かないほうがいいと思うんですね、考えがまとまるまで。</p> <p>スタッフさんたちが先入観で先へ先へと進めて、評価も後でまとめてしようと思ったら、次から次へ他の方が、よかったね、お母さん喜ぶよ、とかそんな調子で言われるので、それでは私たちが行く意味はないんじゃないかなと感じました。特別な何かをするという意味で、絵手紙を伝えに行くんですけれど、スタッフさんたちの理解のもとで、先へ先へ、早く綺麗に終わらしましょう、という感じでされるのは、何かなって思うんです。</p>
<p>副委員長</p>	<p>よろしいですか。絵手紙のお話聞いて、まさにその通りで、前回研修会やったんですけれど、スタッフって何をやるんだ、ということでした、自主性と主体性を考えたら、現場のこと全部自分には分かりませんが、スタッフが本当に世話焼きで、子どもたちの作業まで取っちゃうんですね。</p> <p>切りくずを自分で片付けるのが当たり前ですよ。それをもう早く早くということやってしまって、本来のスタッフの仕事っていうのは、自主性、主体性をつけるためにということで、絵手紙の時もそういう形で話ができればと思います。</p> <p>やはり外部講師のときには、何をどこまで行うかっていうのはきちんとスタッフそれから事務局と打ち合わせしていかないと、失礼ですよ。</p> <p>例えば絵手紙で、何か描きましょう、何でもいいですから、と言うと、子どもたちは全く描けないですよ。次の会場では、季節</p>

<p>委員</p>	<p>の物として、果物とかお花の絵を持ってくるという形で、順番に発展して良くなっていくんだけど、その辺のところを考えると、外部講師とは打ち合わせをしていくってことがね、特に初めて導入するプログラムでは。外部でもビーチバレーとか毎年やっているものは大体分かっていますが。</p> <p>だから、非常に工夫して展開していただけるのはありがたいけども、そういうことで、スタッフは世話やきで、もう早く掃除して終わるといような形の人もいまして、そうじゃないってことをこの前の研修でもお伝えしたんですけど、やはりそのあたりがまだ徹底されてないと、スタッフマニュアルにはあるんですけど。申し訳ございません。</p> <p>いえいえ、ただ本当にそうです。美和なんかはね、手の空いてる方、スタッフも子どもと一緒に説明を聞いてくださって一緒に描くという。だから私たちが一番理想とする形なんです。そこまではいなくても、説明が終わらないうちに子どもの作業に手を出すのはちょっとやめて欲しいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>基本的には講師の方のやりやすい形っていうのは当然ですので、スタッフにも説明をさせていただきます。講師と事務局の連携、また当日スタッフと連携は必要かと思ひますし、スタッフとの調整になります。事前にプログラムを参加者に周知をできればよいなと思ひております。プログラムを先に子どもさんに出すことによつてより効果のある事業になるかなと考へました。スタッフの姿勢について、来年度もスタッフの方には、説明をさせていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>今、外部講師をお招きする点で講師の方からの視点でご意見をいただきましたが、講師の方がいらっしやらないときも、そういう姿勢であるということが必要だと思ひます。事前の打ち合わせでの情報共有も大事だと思ひますが、講師が来た時もし普段においても、教室後にスタッフ同士のふり返り会とかやっていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。ふり返りをやっている学校はあります。子どもたちを送り出した後に、意見を出し合ったりしています。私どもも実施にあたり、毎回実施報告書の提出をいただいています。プログラム時間の経過、参加者人数、施設不備など、出していただき子ども教室の体制を知り共有していく点は今後の課題と思ひています。</p>
<p>委員</p>	<p>本当にスタッフさんは貴重なありがたい存在で、善意で関わって</p>

	<p>くださっている方なので多少趣旨の理解が及ばない例があったとしても、大切にしていきたい存在だと思います。例えばスタッフ同士だとなかなか言いづらいことであると思うんです。木全先生が研修で子どもの自主性についておっしゃってくださっていることなので、指導指針みたいなもので、子どもの自主性を尊重できたか、楽しい動きをつくれたか、と照らし合わせて今日のふり返り項目を作って、お互いに全体のふり返りとしてチェックするようなことをしていくと、個別に注意とか指導とかしなくても、繰り返しの中でそういう意識が根づいていくことが期待できるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>やっぱり、言葉って大事ですね。言葉にしなきゃ伝わらないものもありますね。</p>
委員	<p>ある学校でバタバタ慌てて、講座中にもトイレに行ってしまう子がいて、スタッフがその子の行動を静止する場面がありました。スタッフさんも手を焼いてみえるのは分かるんですけど、ある程度は子どもだからしょうがないと思いますし、場面によって違うときもあるから、先入観であんまり神経質に注意しなくてもと思います。</p>
委員	<p>放課後子ども教室はあま市になる前からやっていますが、そういう議論はいつもありまして、関わるスタッフさんの考え方によっては、子どもさんに厳しかったり、威圧的に対応したりっていうことが過去にはありました。あり方研究会の中でも、授業ではないので自主性や子どもの個性も尊重するための話し合いを続けていますし、スタッフさんに対するマニュアルについても話していきつつ、外部講師の方々の指針もあるので、すり合わせて、ある程度自由を尊重しながら行わないと、子ども教室が、学校と同じような訓練の場みたいではと思います。</p>
委員	<p>管理すごく難しいですね。1人そういう子がいると他の子があの子だって、となるのでね。</p>
委員	<p>現場のコーディネーターさんたちってその日によって変わったりしますか。</p>
事務局	<p>原則は学校ごとで、変わることはないです。</p>
委員	<p>リーダーとなる人の子どもへの接し方で、周りのサブコーディネ</p>

副委員長	<p>ネーターの先生とかも変わってくるかと思う。</p> <p>個々の指導力になってくるので、同じ子どもをみても明るく楽しくできる人もいれば、それができずどうしても厳しい方というものもあるかもしれない。そこら辺の力が難しいですよ。</p> <p>この辺のことはアンケートには出てこないことですよ。</p> <p>元々教員のため、その目線で見るときに、集団を介して個別援助をするため、1クラス全部見なければ駄目だとなるとスタッフの人は気持ちだけで事前研修をやっていて、スタッフ研修をやってないから難しいと思うんですよ。スタッフマニュアルにも書けないようなところもあると思います。</p> <p>美和にコーディネーターが1人、それぞれの地区にサブリーダーがいて、サポーターがいるので、当番の人はサポーターの中で先生と打ち合わせる。終わったら最後に反省会ふり返りをやって、地区の全体会に持っていくという流れになってます。一応固定メンバーですが、プログラムや参加人数によって変動はあり、応援のスタッフが動いてるのは事実です。</p> <p>美和地区では2年前から事務局に依頼して外部講師の紹介文を作ってます。ただ、情報収集が足りていないため紹介文に情報が無い。コーディネーターがいるので言っていれば、幾らでも出せる人がいます。</p> <p>何度も言いますが1年間を振り返るとサポーターの成長を感じられますので、その底上げをしていくことも考えていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>ほかにご意見ありますか。</p> <p>それでは、次の議題のほうに移りたいと思います。</p> <p>(2) 令和8年度放課後子ども教室について</p> <p>事務局よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>令和8年度放課後子ども教室について説明。</p>
委員長	<p>ただいま事務局から説明がありました。他に何かご質問とかご意見がございましたら挙手をお願いいたします。</p> <p>意見がないようですので、3その他に移らせていただきたいと思</p>
事務局	<p>3. その他</p> <p>1点目、放課後子ども教室の他市町村の状況について説明</p>

	<p>2点目、本研究会の今後についてご説明します。</p> <p>以前、委員からも本研究会については、もう使命が終わったので、新たに委員を選出して、新しいスタイルを考えるべきというご意見をいただいております。</p> <p>事務局としまして、放課後子ども教室のあり方研究会において、12小学校で一斉にスタートができ、あま市の元となる実施の形ができたというところで、次のステップに新たなメンバーで、進む方向をきめて再スタートと思っています。</p> <p>一旦、本研究会を廃止し、現状の課題がありますので、そういった運用面の改善、充実に向けた次の段階へ進めたいと考えております。新しい会議体を作るにあたり、委員の選出などの素案を次回の令和8年度にご提案させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。何かご意見がありましたらお願いたします。</p>
委員	<p>放課後子ども教室は、地域学校協働活動の一環というふうに認識しますが、あっていますか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>そうなった時に、地域コーディネーターが6名いるので、その方々にも委員会にも出ていただいて、地域の学校のコーディネートを検討いただくと良いと思います。学校との協力体制って必須ですので、学校という安全な場所を利用して、この活動をやっていくにあたって、学校運営協議会でもお話しいただき、学校側の意見や学校で授業されている地域の講師を放課後教室でもご協力いただけるのか。</p> <p>今だと、子ども教室が学校・地域学校協働活動の一環とは思えず、全く別物みたいなイメージがある。自分自身がコーディネーターとして、7年間やってきて、学校の協議会の中で放課後子ども教室の話題は全く出ませんし、ほかのコーディネーターさんもこの場に入っていないで、学校とのパイプや関係を太くしていただけたら良いと思います。</p>
委員	<p>12ページの表に、送迎を必要としているか必要としていないかとありあますが、現在送迎を必要として送迎をやっているところはありますか。</p> <p>例えば、バスが走っているとか、父兄が順番にまわってくるとか、そういうことはないですか。</p>

事務局	ありません。
副委員長	それから、北名古屋市委託と令和6年度からと書いてありますけど、あま市今年から児童クラブは外部委託ですが、この放課後子ども教室が外部委託という考えはないんですか、あるんですか、今。
事務局	今現状においては 아닙니다。
委員長	ほかよろしいですか。 意見がないようですので、3その他を終了させていただきます。 この後は事務局をお願いいたします。
事務局	皆さんいろいろ貴重なご意見いただきましてありがとうございます。本日いただきましたご意見等も踏まえ、次回お示しさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。 それでは以上をもちまして令和7年度第2回あま市放課後子ども教室あり方研究会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。